

食の商談会開く 261社が出展

第二地銀31行

第二地方銀行31行は6月20日、「食の魅力」発見商談会を東京流通センターで開いた。261社が出展し、26

のりを製造・販売する「True World Japan」の社員から試食を勧められる大神田・東日本銀頭取(6月20日、東京流通センター)



18人のバイヤーが来場。463件の個別商談があった。リックキービズネスソリューションとの共催

で8回目。東京スター銀行と福邦銀行が初参加し、北日本銀行は最多の22社を出展した。大神田智男・東日本銀

行頭取、三村智之・神奈川銀行頭取、中條功・長野銀行頭取、渡邊健雄・福邦銀頭取も駆けつけた。

開会式で吉永國光・東和銀行頭取は「前回は、初回に比べて約6倍の360件が成約した。バイヤーと知り合って、地元の商談会に連れてほしい」と語った。日下智晴・金融庁地域金融機関等モニタリング室長も来場した。

千葉県柏市で食用多肉植物を栽培し、ホテルニューオータニに販売している「Vege Plomo」(京葉銀行担当・初参加)の千葉政幸アグリ事業部長は、「多くのバイヤーに商品を知ってもらい、全国に展開できれば」と期待を込めた。